

このニュースリリースは、「変革と創造」に取り組む千葉県の、重点施策への取組やイベントなどを主にメディアの皆様向けにお知らせするものです。お問い合わせは、報道監報道グループ・各記事末尾の担当までお願いします。



千葉県総合企画部報道監報道グループ
〒260-8667 千葉県千葉市中央区市場町 1 - 1
電 話 043 - 223 - 2061 (佐久間)
FAX 043 - 225 - 1265
Eメールアドレス chiba-news@mz.pref.chiba.jp
千葉県ホームページ <http://www.pref.chiba.jp/>

千葉県の性差医療への取組が、コロンビア大学のアテナ賞を受賞



授賞式の招待状を手にする堂本知事

来る3月31日に、ニューヨーク州にあるコロンビア大学から、千葉県に2004年のアテナ賞(国際部門)が贈られることになりました。

アテナ賞は、コロンビア大学医学衛生学部にある“Partnership for Gender Specific Medicine”(性差に着目した新しい保健医療体系の実施施設/代表 マリアンヌ J レガート教授)が、女性の健康と性差を考慮した医療の分野で多大な貢献をした者に毎年贈っているものです。本年の受賞者は、健康・教育・報道・国際などの各分野から、米国内5名、米国外1名のみが選定されました。

今回の受賞は、堂本知事が就任して以来、千葉県が全国に先駆けて取組んできた性差医療や女性の健康支援施策が国際的に評価されたものです。ニューヨークで行われる授賞式には堂本知事が出席します。

<授賞式> 日時 2004年3月31日(水) 午後6時30分～11時(現地時間)
会場 The Metropolitan Club (1 East 60th Street New York, NY)

千葉県の 性差医療

いま、日本では男女の違いに配慮した新しい医療「Gender-Sensitive Medicine」が急速に広がっています。例えば、服薬量や治療方法などにも男性とは違う女性の特性への配慮が必要です。専門分化された医療の世界で、今後は性差を踏まえた総合的な医療、オーダーメイドされた個々の医療の展開、そしてゆとりと対話を重視した医療の提供が不可欠です。

千葉県では、平成14年2月に策定した「健康ちば21」という計画で、性差をふまえた保健医療の視点から女性の健康と医療に関する施策を明確に打ち出し、全国に先駆けて先導的に取組んでいます。13年9月に県立東金病院で性差を考慮した医療を理念とした女性専用外来を開設すると、県内はもとより県外からも多くの女性が殺到し、またたく間に県内の他の病院でも女性専用外来が開設されました。このうねりは全国にも広がり、現在では120を超える女性専用外来が誕生しています。このほか、14年5月からは、県内すべての保健所(現在16か所)で、女性医師による「女性のための健康相談」も実施しています。

千葉県内で女性専用外来を開設している医療機関

県立病院(東金、佐原、循環器病センター)、船橋市立医療センター、君津中央病院、亀田総合病院、旭中央病院
順天堂大学付属順天堂浦安病院、東京歯科大学市川総合病院、東京慈恵会医科大学付属柏病院

ホームページ:(女性の健康支援) http://www.pref.chiba.jp/syozoku/c_kenzou/index.html

(担当:健康福祉部健康増進課 TEL 043 - 223 - 2661 FAX 043 - 224 - 8910)

地域の国際化を考えるつどい ～ 国際化の視点から見た房総の魅力と可能性

つどいでは、外国人の視点から見た千葉の魅力と可能性、それらを生かした国際交流や国際協力などについて広く紹介し、地域の国際化を考えるきっかけづくりとします。多摩大学名誉学長のグレゴリー・クラーク氏に「地域の魅力と国際化」についてご講演いただくほか、大多喜町で活動する陶芸家クリス・クラーク氏へのインタビュー、両氏と鴨川市国際交流協会の古市一雄氏ほかによるパネルディスカッション、館山市の姉妹交流都市である米国ワシントン州ベリンハム市からのメッセージ紹介などを行います。自然豊かな房総を「国際化」という観点で活性化していくには何が大切なのかを全員で考えるつどいです。

<日時と場所> 3月20日(土) 午後2時～5時、城西国際大学(東金市) 参加費は無料です。

ホームページ : http://www.pref.chiba.jp/syozoku/b_soukei/kokusai/news/event-togane.html

(担当: 総合企画部総合計画課 TEL 043-223-2255 FAX 043-225-4467)

持ち込まれたケモノたち - 外来動物がおびやかす地域の自然 / 県立中央博物館・春の展示

本来は生息していない地域に人間によって持ち込まれた生き物は、野生化すると人間生活や自然に深刻な影響を及ぼすことも多く、世界的な問題になっています。今回の展示では、千葉県に生息するキョンやアカゲザルをはじめ、日本各地に生息するアライグマなどの外来のケモノを、多数の剥製、写真、ビデオ映像などで紹介します。また、奄美大島のマングースや、野生化したペット動物などがどういう問題を引き起こしているのかも紹介します。「エッ、こんな動物が千葉の山に!」と、きっとびっくり。お子様から専門家まで見応え十分です。さらに、来場者には、千葉の外来哺乳類について解説した冊子「千葉の外来哺乳類」(A4, 16ページ)を差し上げます(無料)。



アライグマ(北アメリカ原産)
君津市にて。撮影: 鎌田真司郎

期日: 平成16年3月20日(土)～5月9日(日)

会場: 県立中央博物館・本館 企画展示室

ホームページ: <http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/>

(担当: 県立中央博物館 TEL 043-265-3111 FAX 043-266-2481)

観 光 / イ ベ ン ト

第6回佐倉・時代まつり / 旧城下町地区(栄町)ほか

佐倉市制施行50周年を記念し、幕末の佐倉をリアルに再現。日米修好通商条約の締結に大きな役割を果たした佐倉藩主「堀田正睦」の末えいも行列に参加します。ペリーやハリス、新選組や坂本龍馬も登場し、行列を盛り上げます。稚児行列や総勢200名のロックソーラン、木遣りと梯子乗り、太鼓7団体の競演など見どころがたくさんです。5月2日(日) 午前10時～午後5時、佐倉市の旧城下町地区と新町で開催されます。

(問い合わせ: 佐倉・時代まつり実行委員会(佐倉商工会議所内) TEL 043-486-2331)

真里谷城址 たけのこ祭り(木更津市)

恒例「たけのこ祭り」が、真里谷城址で行われます。1人2本まで無料でたけのこを掘ることができるほか、竹の子ごはんや竹の子汁を竹のお椀でいただけます。木更津諏訪太鼓の演奏、野だてと琴の演奏、よさこいソーランが披露され、たけのこや新鮮な農作物の直売、竹細工の実演も行われます。4月18日(日) 午前10時～午後3時、真里谷城址「木更津市立少年自然の家キャンプ場」で。JR馬来田駅からは臨時送迎バスが出ます。城址とJR馬来田駅を結ぶ「うまくだの路」(約7km)では、歴史探訪・散策を楽しむことができます。

(問い合わせ: 木更津市観光協会 TEL 0438-22-7711)